

写真左から、前田所長、日高さん(森さんの代理)、服部さん、酒井君、田中さん、米田署長



その後、米田雅人屋久島森林管理署長が命名証と記念品を贈呈しました。受賞した酒井拓君(8)は「屋久島の自然をこれから大切にしたい」と。また、今回、命名式に出席できなかった森弥々さん(11)は「来春、家族で屋久島を訪ねたい」と受賞の喜びをのべました。命名は「シカの宿」・森弥々さん(11)・神奈川県横浜市、「武家杉・公家杉」・服部大介

屋久島世界自然遺産登録20周年記念イベント
無名ヤクスギ、愛称決定!
 「あなたの名前でデビューします」

屋久島森林生態系保全センターは、世界自然遺産登録20周年を記念し、募集していた屋久島町「白谷雲水峡」の自然休養林内にある4つの無名ヤクスギのデビューを決め、10月26日、愛称の命名式を実施しました。白谷雲水

峡を訪れた全国の方々から189件の応募がありました。同保全センターの前田三文所長は「すばらしい愛称がありがとう。これを機に森林や樹木に親しみを深めていただければ」とあいさつ。そ



武家杉・公家杉
 命名者：服部大介さん 屋久島町船行
 「左が苔の鎧をまとった武家杉、右が白銀の美しい樹皮が目立つ公家杉をイメージ」



シカの宿
 命名者：森弥々さん 神奈川県横浜市
 「穴の中でシカが雨宿りをする姿をイメージ」



女神杉
 命名者：田中咲枝さん 屋久島町永田
 「しなやかな線が、美しい女体をイメージ」



かみなりおんじ
 命名者：酒井拓君 屋久島町永田
 「雷に打たれた杉を見て、年をとったおじさんをイメージ」

さん(32)は屋久島町船行、「かみなりおんじ」酒井拓君(8)は屋久島町永田、「女神杉」田中咲枝さん(57)は屋久島町永田。今回のイベントが、屋久島の貴重な自然を未来へつないでいく契機になればと思います。

屋久島の植物



キツタ
 (ウコギ科)

本州以南に分布するつる性の木本。常緑で「フツツタ」ともいう。照葉樹林の林縁などで樹木にはう。葉は日陰のものは3〜5裂するが、よく生育しているものは全縁。枝先に黄緑色の小さな花を持つ球形の花序をつける。花期10〜12月。

20周年記念写真展

屋久島世界自然遺産登録20周年記念事業の一環で、後記の写真展(パネル展示)を開催します。
 日本の世界自然遺産地域
 ・知床
 ・小笠原
 ・白神山
 ・屋久島

国有林が関わる世界文化遺産地域
 ・古都京都の文化財
 ・厳島神社
 ・古都奈良の文化財
 ・紀伊山地の霊場と参詣道
 屋久島同様に「世界遺産」である国内の他の地域を、きれいな写真パネルで巡ってみませんか。
 とき：11月23日(土)
 場所：離島開発総合センター
 ※ その後は、屋久島森林生態系保全センターで引き続き展示します。

屋久島世界自然遺産登録 20 周年記念事業

屋久島自然休養林の木道苔おとし等の森林清掃ボランティア活動参加者募集！

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会では、森林整備協定を結んでいるアサヒビール（レクリエーションの森の公認の企業サポーターです。）と地元の関係機関の皆様とで、屋久島自然休養林（ヤクスギランドと白谷雲水峡）内における森林清掃ボランティア活動を、平成 20 年から毎年実施しております。

本年は、屋久島世界自然遺産登録 20 周年を記念して、一般の皆様にも参加を募集します。

森林清掃ボランティア活動の日程等は下記のとおりです。屋久島自然休養林の森林清掃ボランティア活動に御協力いただける方は、当日送迎バスを運行しますので、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会（4 2-3 5 0 8）へ、11 月 20 日（水）までにお申し込みください。

記

実施予定日・時間：平成 25 年 11 月 30 日（土）12:00～16:00

活動場所：ヤクスギランド

作業内容：① 木道苔おとし
② 手摺り苔おとし
③ 滑り止めの取り替え

※ 参加者を 7 班に分けて、7 カ所で作業します。

昼食：ご持参ください。

森林清掃ボランティア活動に参加する関係機関

- ・ 林野庁屋久島森林管理署
- ・ 同屋久島森林生態系保全センター
- ・ 環境省屋久島自然保護官事務所
- ・ 屋久島パークボランティアの会
- ・ 公益社団法人屋久島観光協会
- ・ 屋久島町



送迎バスの発着時刻（予定）

《往路》

宮之浦港発
(10:00)
↓
宮之浦バス停
(10:03)
↓
安房バス停
(10:37)
↓
牧野バス停
(10:40)
↓
ヤクスギランド着
(11:20)

《復路》

ヤクスギランド発
(16:20)
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓
宮之浦着
(17:30)

- ※ 昼食時間は 11:20～12:00 を設定しています。
- ※ バスを利用される方は、上記のバス停以外でも、宮之浦～安房の範囲内で乗車できます。お申し込みの際にお申し出ください。

屋久島生態系モニタリング

屋久島西部の植生垂直分布調査(平成 22 年度)

●標高 0m プロット

宮之浦川河口右岸の過去に胸高直径 50 ㎝以上のクロマツ大径木が茂っていた防風保安林。それら大径木はマツ材線虫病により全て枯死、現在では海岸部に胸高直径 20～30 ㎝程度のクロマツがシャリンバイやヤブニッケイ、イスノキ、タブノキ、ハゼノキ等の広葉樹と混交して生育。プロットの地形は砂浜から内陸にかけた緩斜面、平均斜面方位は北東向き、標高 3～8 ｍ範囲。[高木層]海岸側はクロマツが多く、内陸側でヤブニッケイ・ヤブツバキ・ハゼノキ・シャリンバイが混生。内陸側にはイスノキ・ギョボク、個体数は少ないがホルトノキ・クロガネモチ・ヤマグワ・ヒメズリハ・タブノキが出現。[亜高木層]海岸側ではクロマツ・シャリンバイが多く、内陸側にはモクダチバナが多い。ヤブツバキ・ハゼノキ、個体数は少ないがイスノキ・ギョボク・ハマクサギ・タブノキ・ネズミモチ・ヤブニッケイが生育。[低木層]海岸側ではリュウキュウチクの密度が高い。ハマヒサカキ・シャリンバイ・モクダチバナ・ヤブツバキが多く、ボチョウジ・ハマビワ・フカノキ・ネズミモチ・トベラ・ウラジロフジツギ・ナワシログミなども出現。[草本層]リュウキュウチクが最も多く、テイカカズラ・タマシダ・ヒトツバ・ヤブニッケイやヤブツバキの稚樹も多い。個体数は少ないが、ホルトノキ・コクテンギ・イスノキやクロマツの稚樹、オオバチヂミザサなども出現。[特徴]クロマツ・リュウキュウチク群集。モクダチバナ・シャリンバイ・ハマヒサカキなどが多く、ギョボク・フカノキ・ボチョウジが生育。砂地の海岸林には珍しくイスノキの高木が出現。[5年前との比較]高木層のクロマツの生育が旺盛で、競合する高木層のハゼノキ、亜高木層のモクダチバナが数本、被圧により枯死。ヤクシカのいない場所なので低木・草本層の変化は少ない。